

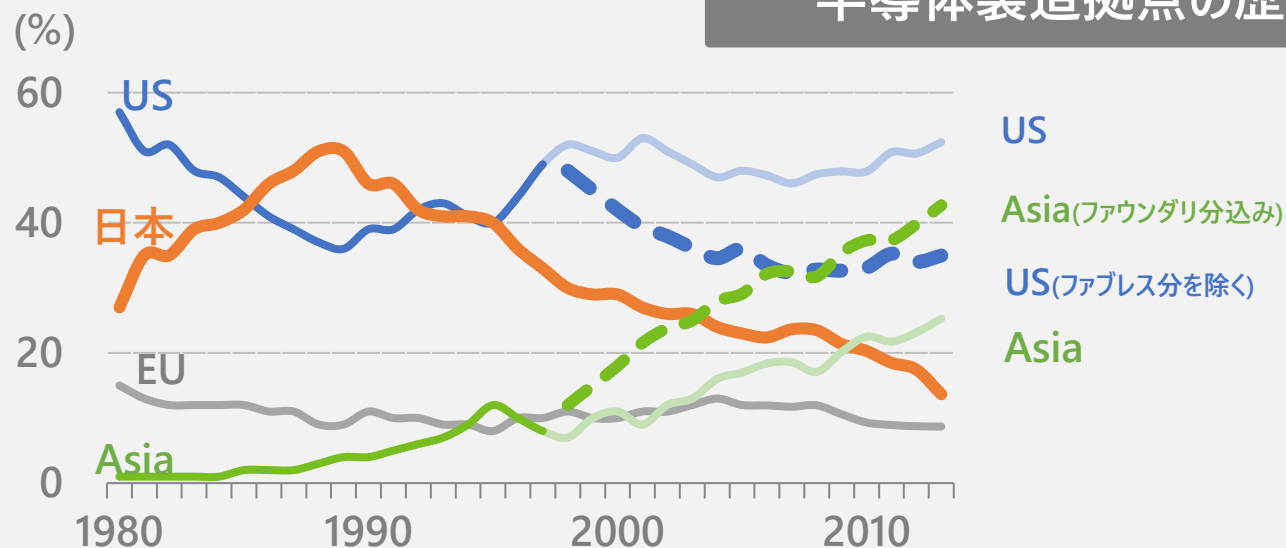
半導体産業の持続的成長に向けて
-今、何故「最先端半導体」を選択したか？-

Rapidus株式会社 取締役会長
LSTC（技術研究組合最先端半導体技術センター） 理事長

東哲郎

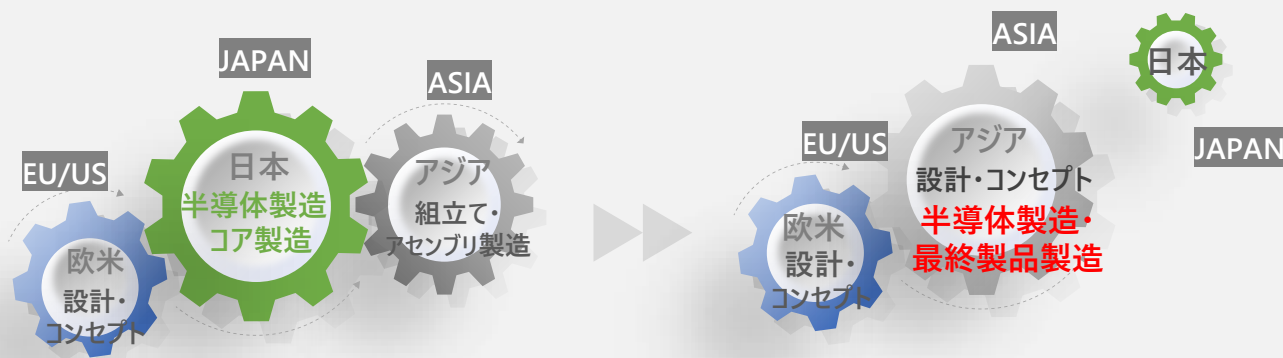
1980年代から昨今までの世界半導体産業様相

半導体製造拠点の歴史的変遷



- 半導体の製造拠点は**東アジア**に集中
- 日本**はシェアを失っただけではなく、**先端技術空洞化の道**を選んだ

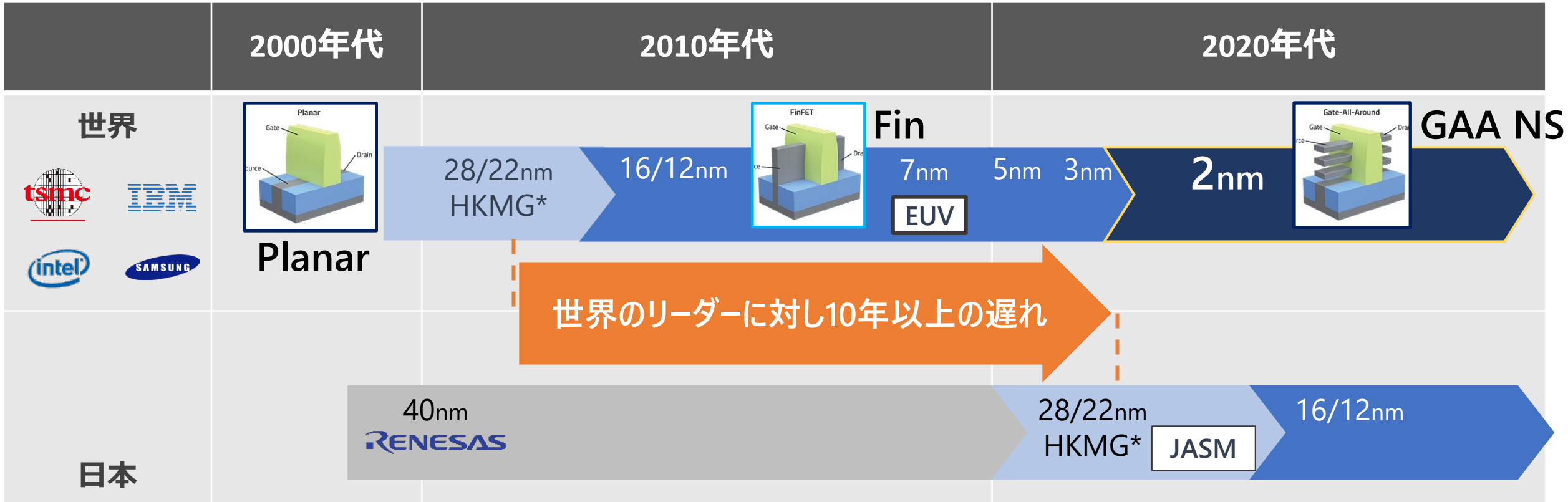
リーダーシップの変化



- アジアを含む多極化により、
- 真の**技術リーダーシップ**が求められる（日本：凋落の過程で最先端ロジック半導体技術の開発を行わず輸入に依存）
 - 顧客要求を満たす**技術・スピード・コスト**(better, sooner, cheaper)が重要
 - 汎用から**専用化**

日本は40nmロジック半導体までしか製造できない

熊本JASMにて22nmの製造が開始予定だが、世界のリーディングカンパニーから10年以上遅れ



【喫緊の課題】

- ◆ 過度な台湾依存からの脱却
- ◆ 先端半導体開発・製造能力の確保
- ◆ 現在から10-20年の半導体業界を支える人財の育成

【解決策】: 2nm

技術開発

- ◆ 我が国に研究開発・製造拠点設立
- ◆ 米欧日の協力関係を強化
- ◆ 半導体教育の見直し